

東環協ニュース

発行●東京都環境計量協議会

〒110-0016 東京都台東区台東 1 - 14 - 11
ヒロエンジニアリング(株)内
TEL (03) 5812-4111
FAX (03) 3833-6674
MAIL toukankyo@car.ocn.ne.jp
URL <http://www.toukankyo.org>

○ 2022 年度 技術研修会報告

○ 新年のご挨拶

- ・ 東京都環境計量協議会 会長 平賀 積善
- ・ 東京都環境局 環境改善部長 鈴木 研二 様
- ・ 東京都生活文化スポーツ局 計量検定所 所長 戸 澤 互 様
- ・ (一社)日本環境測定分析協会 会長 上 東 浩 様

○ 2023 年 新春賀詞交歓会報告

○ 関係機関・団体の動き

- ・ 首都圏環境計量協議会連絡会
- ・ (一社)神奈川県環境計量協議会
- ・ (一社)埼玉県環境計量協議会
- ・ 千葉県環境計量協会
- ・ (一社)日本環境測定分析協会

○ 東環協からのお知らせ

- ・ 2023 年度 主要行事予定
- ・ 事務局からのお知らせ

2022年度 技術研修会報告

『2022年度 技術研修会』は、感染防止に十分注意を払った上で会場参加型により開催しました。今回は、コロナ禍にもかかわらず、会員企業 24 社（42 名）、協賛企業 4 社（6 名）、来賓 2 名と多くの方にご参加いただきました。

日 時 : 2023 年 1 月 24 日（火）15:40～16:50
場 所 : アルカディア市ヶ谷 5 階 「穂高（西）」
講 演 : 「環境分析の組織運営における課題と対応」
講 師 : （一社）日本環境測定分析協会 水質・土壌技術委員会
委員長 近野 良哉 様（東京都環境計量協議会 監事）

東環協 平賀会長の開会挨拶



平賀会長

皆様明けましておめでとうございます。本日は東京都計量検定所様、日本環境測定分析協会関東支部様から、ご多忙のところご臨席を賜り誠にありがとうございます。

本日の技術研修会の講演は「環境分析の組織運営における課題と対応」ということになっていますが、私も非常に楽しみにしております。東環協といたしましても組織運営・人材育成という直面した課題を抱えていると思っております。新しい人材を育成し、組織運営のカタチを変え課題を絞り出し、解決して行く組織にしなくては東環協の新しい未来は見えてきません。また、物事を進めて行く中で重要な事は定性的ではなく定量的な目標設定、期限、目標に対する意識づけをすることが大事になると思っております。人材育成教育を進める中で経験が7割を占めると言われております。但し、経験した事を振り返り、何を学んだかを考え学習し各自の力とすることが大変重要になってまいります。本日の研修会は人材育成における貴重な経験の場と捉えております。この研修会を受講する中で何を学んだかを意識して下さい。その学びを習慣化し自分の力として広げていくことを願っております。

今後、東環協としましても明確な中期及び長期ビジョンを掲げた中で進んでいかななくてはならないと思っております。東環協の未来を描く中では会員の皆様のアイデアと力と熱意が必要になってきますので、今年一年、会員の皆様の力を集めた中で何をしたいか？何をしなくてはならないか？何が出来るか？をポイント、ポイントで決めていきたいと思っております。会員の皆様と共に知恵を出し合って前に進んでいければと思います。ご協力よろしくお願いいたします。

また、先ほど申しましたように本日の技術研修会の中で各自新しい学び、新しい課題を意識した聴講をお願いします。本日はよろしくお願いします。

講演 環境分析の組織運営における課題と対応

(一社)日本環境測定分析協会 水質・土壌技術委員会
委員長 近野 良哉 様 (東京都環境計量協議会 監事)



近野委員長

はじめに日本環境測定分析協会 水質・土壌技術委員会の活動内容の概要について説明があった後、「環境分析の組織運営における課題と対応」というテーマで講演がなされました。

本講演では「環境分析の組織運営における様々な課題」「人材育成」「品質マネジメントシステムの構築・運用」という3つの内容について講義がありました。

「環境分析の組織運営における様々な課題」としては、戦略、業務、資源、組織という4つの枠組みで、基幹事業分野の強化と新規事業の創出、品質の確保とミス防止、安全・リスク管理、イノベーション、生産性向上と働き方改革、ガバナンスの強化といった内容が説明されました。

「人材育成」については、環境分析の仕事をする上で業務に直接必要な様々な知識・技能を身につけると同時に、特に現代社会では、早い変化への対応力を磨くこと、教科書的な答えのない問題に取り組み、自分で考えて実行・検証すること、現地に赴き、現物を自分の目で見ることなどの重要性について説明がありました。

「品質マネジメントシステムの構築・運用」では、環境測定分析の仕事には環境行政の基盤を担う重要な役割があり、正確なデータを出すために、計量法の体系を生かしつつ ISO17025 等の仕組みを取り入れた効率的な品質マネジメントシステムの整備が不可欠であるという説明がありました。

講演の最後は、多くの事業者が課題に挙げる人材育成について、業界の横の繋がりで助け合い、若手職員のモチベーションを刺激し合うという当協議会への期待を込めた言葉で締めくくられました。

貴重な講演をありがとうございました。

皆さん関心が多い内容のため大変多くの質問をいただき、盛況のうちに終了することができました。





会場案内



受付状況



司会 五十嵐副会長



ご来賓の様子



聴講者の様子



質問風景

資料抜粋

1.日環協 水質・土壌技術委員会の活動紹介

(1)分析技術に関する課題の検討

- ・公定分析法の課題の抽出・検討
- ・内部精度管理のあり方に関する検討
- ・法令改正等の情報収集

(2)各種検討会への委員派遣

- ・環境省検討会(統一精度管理調査、水質分析法)
- ・JIS K0102、JIS K0125、下水試験方法、ISO/TC147等の検討会

(3)公定分析法に関する環境省との意見交換



(4)計量管理講習会(濃度)の開催

目的:計量管理者の後継者育成、実務者への情報提供

前回(2022年6月)の講演内容:

- ・環境計量士の役割と倫理
- ・環境計量士の仕事・計量器の管理
- ・JIS K0102規格体系の見直し
- ・水質・土壌関連とそのトピックスこの1年
- ・分析のミストラブル事例と対応
- ・品質マネジメントシステムの要点

→次回は**2023年6月23日(金)**開催予定(内容:検討中)

2.環境分析の組織運営における様々な課題

課題(問題)とは何か?

【発生の課題】

誰の目にも明らかに分かるもの
(原因究明による再発防止が重要)

どこに問題があるのか(Where)

⇒問題に対する**原因**の追究(Why)

⇒問題を解決する**対策**を考える



【設定型の課題】

あるべき姿に照らして初めて分かるもの
(あるべき姿の設定による問題認識が重要)

「あるべき姿」の設定

- ・大目的:何がしたいか
- ・内部環境:何ができるか
- ・外部環境:何が必要とされているか

課題=あるべき姿と現状のギャップ

外部・内部環境 各項目ごとの課題(1)

赤:組織運営上の課題

(外部環境)

- ・市場 環境リスクー地域脱炭素、生物多様性、化学物質汚染
省庁の動向(政策、予算)ー環境省、国交省、厚労省...
- 人々の意識の変化(SDGs、価値の多様化)

(内部環境)

- ・戦略ー中期経営計画ー**新規事業創出、基幹事業分野の強化**
- ・業務ー営業ー 各省庁、民間ー顧客満足度の向上、好評価の獲得
- 基幹事業(化学分析等)ー品質管理システムの構築・効率的運用
- ミス防止、安全管理、リスク管理
- 新規事業ー技術開発、新しい市場の創成

今回、特にお話したいこと

外部・内部環境 各項目ごとの課題(2)

赤:組織運営上の課題

(内部環境)

- ・資源ーヒト(管理者、技術者ー人材の採用・育成(知識・技能、資格、人間力、変化への対応力)、イノベーション、働き方改革(若手技術者の技量向上)、意識改革、モチベーション向上、リーダーシップ獲得)
- モノー施設・設備、分析機器ー設備管理、生産性向上(DX推進、AI活用)
- カネー予算ー受注拡大、原価削減
- 情報ー技術等ー法令・JISの改正や新たな規制の情報収集
- 情報セキュリティ強化
- ・組織ー効率化・連携強化、ガバナンスの強化、コンプライアンス、BCP、業務量の平準化、孤立感の回避

3.人材育成について

「平成30年度環境計量証明事業者(事業所)の実態調査(日環協)」で「最も大きな課題」として各社が挙げた回答で、「測定分析料金の低価格化(22%)」に次いで多いのが「人材育成・教育(15%)」。

<人材育成と教育訓練>

組織で最も重要な資源=人

<環境分析の仕事に関わる教育訓練の事項は、非常に多岐にわたる>

- 基礎知識(化学、物理、生物、測定原理、サンプリング)
- 実験に関する安全管理(薬品の知識、器具の取扱い)
- 分析の技能(作業手順、分析機器の使用法、不確かさ...)
- 精度管理(内部、外部)、計量管理、ISO(9001、14001、17025...)、資格取得
- 関係法令・JISに関する知識、ミス防止、リスク管理、情報セキュリティ、倫理・コンプライアンス...

人材育成に求められること(2) 変化の激しい時代に生きる

現代の特徴:VUCA

- ・Volatility(変動性)
- ・Uncertainty(不確実性)
- ・Complexity(複雑性)
- ・Ambiguity(曖昧性、多様性)

◎正解のない時代

唯一解によって単純に動くことのない「**正解がたくさんある時代**」

「新失敗学ー正解をつくる技術」(畑村洋太郎著)より

(教科書に)正解が見つからない問題にどう対処するか?

⇒**自分なりの正解**を出していく思考法

- ・自分で考える(仮説を立てる) 実行する
- ・その結果を検証する

- ・やってみなければ(サントリー創業者など)
- ・知識、スキルの重要性 イノベーション、コミュニケーション
- 三現(現場、現物、現人)の実践
- ・価値が多様化した時代
- ＝価値を自分たちで作り上げる時代
- ・失敗と上手につきあう

4.品質マネジメントシステムの構築・運用について

- ・環境測定分析は**環境行政の基盤**を担う重要な役割を持っている。
- ・正確なデータを出すには**品質マネジメントシステムの整備**が不可欠。
- ⇒計量法の枠組みの精度管理にISOの品質管理を取り入れ、システムの整備を図る必要がある。

<ISO/IEC17025の品質管理による補足点>

- ・要員の**力量要求事項**
- ・測定不確かさの評価、適合性表明に関する判定ルール
- ・計量トレーサビリティ、結果の妥当性確保
- ・苦情処理、不適合業務の処理の**プロセス**
- ・PDCAに基づくマネジメントシステム

2022年度 技術研修会 参加者

2023年1月24日（火）

於 アルカディア市ヶ谷 5階 「穂高（西）」

来 賓

東京都生活文化スポーツ局 計量検定所 所 長 戸 澤 互 様
 （一社）日本環境測定分析協会 関東支部支部長 佐 藤 隆 様

会 員

No	会 社 名	氏 名	備考
1	いであ(株)		
3	(株)エオネックス		
4	(株)オオスミ		
9	(株)環境管理センター		
12	(株)環境技術研究所		
15	(株)環境総合リサーチ		
16	環境リサーチ(株)		
17	シグマジオテック(株)		
18	(株)島津テクノリサーチ		
19	新日本環境調査(株)		
20	(株)総合環境分析		
21	ダイヤアクアソリューションズ(株)		
22	帝人エコ・サイエンス(株)		
25	(株)デイラボ		
27	(一財)東海技術センター		
28	(株)東京環境測定センター		
30	(株)日新環境調査センター		
31	(株)日本シーシーエル		
32	(株)日本総合科学 東京支所		
33	日本物理探査(株)		
36	(株)日本分析		
38	ヒロエンジニアリング(株)		
39	(株)分析センター		
42	ムラタ計測器サービス(株)		

24社 42名

協賛企業

No	会 社 名	氏 名	備考
1	輝達商事(株)		賛助
2	日本コントロールシステム(株)		賛助
4	ビーエルテック(株)		賛助
6	メルク(株)		賛助

4社 6名

来賓 2名

合計 50名

新年のご挨拶

『新年挨拶』

東京都環境計量協議会

会長 平賀 積善



平賀会長

明けましておめでとうございます。この様な対面での賀詞交歓会をこうして開催出来ることを大変うれしく思います。

また、東京都環境局 環境改善部様をはじめ東京都計量検定所様、(一社)日本環境測定分析協会様及び(一社)日本環境測定分析協会関東支部様、ご臨席を賜り誠にありがとうございます。そして、環境業界で一生懸命働く東環協会の皆様、ありがとうございます。

私たち東環協は当たり前のことに感謝し、頑張っている人を称え応援する、その結果成長し分配が行われる豊かな業界を目指してまいります。

昨今、カーボンニュートラルと言う言葉を色々な場面で耳にするようになりました。この様な課題は皆で一緒に取り組まなければなりません。この取り組みに対し適切にジャッジする基盤を作っているのは私たちの業界なのです。風は私たちの分析業界に吹いております。会員の皆様、誇りを持ちましょう。私たちは今まで以上に分析業界の価値を上げて行く努力をしていかななくてはなりません。そして、どうしたら業界価値を認められるか常に考えて行くことが大事だと思っております。また、実行できる仕組みを作っていかなければいけないと思っております。

私たちのすべきことは何かを皆で考え、共感し世の中の基盤を作る我々のこの基礎データが活用され、世の中を豊かにするのです。そういう強い意識をもって東環協の中で活動していきたいと思っています。東環協会の皆様の横のつながり、つまりA社ができること、B社ができること、C社ができること、それぞれの情熱と強みがつながったときに新しい創造、価値が生まれます。これが新しい価値となり世の中を豊かにするのです。これが私たちの価値なのです。こういうことを会員の皆様と共に考えて行きたいと思っております。

今年はいざなぎ年でございます。うさぎ年では株価が跳ね上がるとよく言われますが、そこで株価の根幹を支えるのが我々の分析業界であるべきなのです。世の中を変えろという強い目標意識をもってこの一年頑張っていければと思っております。今回の賀詞交歓会には多種多様な方々に来ていただいているかと思います。この中でもっともっと積極的に交流していただき新しい価値、豊かな分析業界、幸せな世の中を創る場として活用していただけることを願っております。世界の幸せのために存在するのが私たちなのです。皆様、よろしくお願いします。

『新年挨拶』

東京都環境局 環境改善部長 鈴木 研二 様



鈴木部長

明けましておめでとうございます。只今ご紹介いただきました東京都環境局環境改善部長の鈴木でございます。よろしくお願いいたします。

本日は、東京都環境計量協議会の賀詞交歓会にお招きをいただきありがとうございます。また、日頃から皆様には東京都の環境行政にご理解とご協力をいただき厚く御礼を申し上げます。年頭にあたりましてひとことご挨拶を申し上げます。

皆様ご存じのとおり、新型コロナウイルス感染症がまだまだ収束が見通せない中、ロシアのウクライナ侵攻によるエネルギー問題もあり、最近では物価高騰の話題も多く、都民の皆様や協議会の皆様を取り巻く環境は厳しさを増しております。

そうした中ではありますが、東京都は昨年9月に新しい東京都環境基本計画を策定いたしまして、2050年のあるべき姿の実現に向け、目標や施策の在り方を示しております。気候危機が進み、エネルギー危機にも直面する中で、東京をグリーンでレジリエントな都市にしていくために様々な取組みを進めていくこととしております。

私ども環境改善部は、その中で、快適な大気環境、良質な土壌、地下水の確保、化学物質の適正管理など、様々な分野で事業を進めておりますが、こうした事業を進めるうえで東京都環境計量協議会の皆様の信頼性の高い測定・分析技術が不可欠であります。先ほど会長からお話がありましたが、皆様の技術が我々の事業を進める上での基本となり、大きな役割を果たされております。東京都環境計量協議会の皆様には、引き続き東京都の環境行政にご協力をいただけますよう、改めてお願いを申し上げます。

結びになりますが、本年は皆様にとりましてより良い年でありますことを心からお祈りいたしますとともに、ますますのご発展とご多幸を祈念いたしまして新年の挨拶とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございます。



『新年挨拶』

東京都生活文化スポーツ局 計量検定所
所長 戸澤 互 様



戸澤所長

皆さん明けましておめでとうございます。

只今ご紹介にあずかりました東京都計量検定所所長の戸澤でございます。このような会にお招きいただきまして誠にありがとうございます。新年になりまして、様々な団体から賀詞交歓会ということで呼ばれるようになりました。先ほど「コロナもまだ」というお話がありましたが、このように対面でお話できることを非常に喜ばしく思います。

平賀会長のお話しにもあったとおり、今年は「うさぎ年」ということで飛躍の年と言われています。NHK の大河ドラマがスタートしたのもちょうど 60 年前、1963 年のうさぎ年でした。当時、テレビがだいぶ普及し始めて、NHK でも大河ドラマをやろうということになり、当初は戦国ものが中心だったようですが途中から戦国ものだけでは不味いということになり、明治維新など戦国時代以外の話もやるようになりました。ただ、どうしても人気があるのは戦国時代とか明治維新で、それ以外の時代を扱うときは NHK も視聴率を確保するのに苦労したそうです。

去年は「鎌倉殿の 13 人」ということで鎌倉時代でしたが、三谷幸喜さんのシナリオが素晴らしく、手に汗を握るような、はらはらどきどきの展開で非常に人気を博しました。今年は「どうする家康」ということですが、大河ドラマはもう 65 回目を数え、家康が登場するのは 25 回目となります。家康はあまり人気がないと言われており、日本人は織田信長とか上杉謙信、あるいは伊達政宗などが好きなんだそうです。過去の大河ドラマの視聴率でも伊達政宗を扱った独眼竜政宗が視聴率ナンバーワンであります。

このような中で、今回は家康です。家康というと皆様に言わせれば「古だぬき」だとか、若い頃に人質になって苦労したとか、あとは忍耐強いという意味で「鳴かぬなら鳴くまで待とうホトトギス」など、昔歴史で学んだと思います。そういうキャラクターではありますが、それが面白いかどうかということです。今回の「どうする家康」では、今までとは家康のキャラクターがまったく違い、質実剛健といったキャラクターから一気に感情的で涙もろく、優柔不断な家康が登場しました。そしてそれが困難な場面でどう転んでいくのか、これが今回の非常に面白いところかなと思います。難しいのは三河をどうするかということで、家族を人質に取られている今川につくのか、新興勢力である織田側に寝返るのか、という重大な決断を下す場面がありました。

私が思うのは、今年は皆さんにとっても難しい選択をしなければならない年になるのではないかと思います。「どうする家康」ではありませんが、困難な状況の中でどう判断していけば良いかを問われる年だと思います。最近ネットなどで「どうする家康」にかけて言われている「どうするプーチン」だとか、「どうする岸田政権」ではありませんが、色々な場面で判断を問われるのではないかと思います。この番組を推奨する訳ではありませんが、皆さんもこの放送を「自分が家康だったらどうするか」という観点で視聴し、判断力を磨いていくというのも良いのかなと思います。

新年が皆さんにとっても良い年になることを願っております。結びになりますが、本日ご参集の皆さんの益々のご発展とご健勝を祈念いたしまして、私からのご挨拶とさせていただきます。

『新年挨拶』

(一社)日本環境測定分析協会
会長 上東 浩 様



上東会長

日環協の会長を務めております(株)島津テクノリサーチの上東と申します。新年明けましておめでとうございます。と言いつつも1月もあと1週間ということになっておりまして、時間が経つのは早いものです。

日環協といたしましては昨年、経営セミナーと環境セミナーを札幌と京都にて完全対面で3年ぶりに開催させていただきました。皆様、対面の会合に飢えていたこともあり非常に盛り上がったのかと思っております。特に、東環協の皆様にも多くの方々にご参加いただきまして誠にありがとうございました。

年が替わり、新しい年を迎えましたが、新型コロナも5月上旬を目途に5類にするとかしないとか検討が行われている様ですが、重症病棟は、まだ、ひっ迫していないにも拘わらず、死亡者が増えていくということで、新型コロナもまだ解らないところが多く残っているということです。最前線で頑張られている医療関係の方々も悩みが多いというのが実態だと思います。

さて、我々の業界を振り返ってみますと、先ほど平賀会長がお話されましたように「環境計量」が立ち上がって半世紀になります。日環協も任意団体として立ち上がったのが、1973年11月22日なのですが、正式には、1974年4月1日、当時の通産省と環境庁のご認可を受けて、「社団法人」として設立いたしました。再来年度(2024年度)が、設立50周年となりますので、50周年の記念行事を行います。

また、2023年度は、5年に1度の環境計量証明事業の実態調査を実施します。関東支部並びに都道府県単の皆様方のご協力をお願いいたします。

半世紀前、我々の業界は、高度成長期の負の遺産である公害問題を契機に立ち上がり、受託分析事業の基盤が環境計量証明事業所の登録ということでした。ただ、この半世紀の間に外的環境も変化していき、計量証明対象以外の様々なところで、事業を展開し世の中に貢献していると思います。グローバルな「環境」というキーワードで、水、大気、土壌から製品や食べ物などに我々の分析技術がしっかりと関わっていて、環境行政をはじめ、様々な分野で我々が提供するデータを基に評価・判断されて活用されています。

平賀会長からもありましたように我々がやっていることは、非常に価値があり意味があることですが、私の目から見て、いえ、個人的ではなく、皆様の目からみても、本当に適正価格で仕事が出来ているのか疑問に感じておられるのではないかと思います。

これは長年の課題ですが、やはり、若い人達にとって我々の業界に魅力を感じなくなっている要因の一つです。今、日環協では、原点に立ち還り、この半世紀を振り返って、業界を取り巻く変化に対応するため活動しています。皆様方も色々ご意見がおりだと思いますので、是非、直接、私なり三役にぶつけていただければと思います。目指すところは、同じですが、アプローチの仕方は色々あると思います。皆様のお力を借りながら、この業界を若い人達にとって何が出来かを考え、若い人達のために何をするかだと思っています。これからも知恵を絞って力を尽くして参りたいと思います。

ここに、ご参集の皆様ご自身並びに会社や各種団体様の益々のご清栄を祈念して、私の挨拶の締めとしたいと思います。今後とも皆様のお力をお借りしたいと思います。

本日は、おめでとうございます。ありがとうございました。

2023年 新春賀詞交歓会報告

『2023年 新春賀詞交歓会』は、感染対策をした上で会員企業 21 社（45 名）、協賛企業 6 社（9 名）、来賓 5 名と多くの方々にご参加いただき、盛大に開催されました。今回は来賓として、東京都環境局 環境改善部長 鈴木 研二 様、同 大気保全課長 木立 真敏 様、東京都生活文化スポーツ局 計量検定所 所長 戸澤 互 様、（一社）日本環境測定分析協会 会長 上東 浩 様、同 関東支部長 佐藤 隆 様に来賓としてご臨席いただきました。

日 時 : 2023 年 1 月 24 日（火）17:00～

場 所 : アルカディア市ヶ谷 5階 「大雪」

初めに当協議会の平賀会長より挨拶があり、その後、鈴木部長、戸澤所長、上東会長からそれぞれ新年のご挨拶を頂戴いたしました。続いて、お待ちかねの乾杯となり、佐藤支部長による乾杯のご発声で参加者一同がビールを飲み干し、賀詞交歓会が始まりました。沢山のご馳走を前に、お酒を酌み交わし、情報交換・名刺交換等が行われていました。

歓談はコロナに気を使いながらではありますが大いに盛り上がっていました。途中、日環協関東支部から 2 月 24 日に開催される関東支部大会の案内や、今回協賛していただいた企業の皆様の紹介がありました。

お酒も入り、程よく場が和んできたところで、皆さんお待ちかねの景品交換会が実施されました。景品は食品を中心にお米券を含め人気があるものを揃えておりました。また、コロナ禍であることから今回はビンゴ大会ではなく抽選会での実施となりましたが、変わらず大盛況となりました。

楽しく過ごした賀詞交歓会もいよいよお開きの時間となり、織間理事による三本締めにより締めが行われ、お開きとなりました。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

会員の皆様におかれましては、今年も良い年になりますことを祈念いたしますと共に、実り多い年となりますよう、役員一同、心よりお祈り申し上げます。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。



司会 木村副会長



日環協 佐藤支部長による乾杯



平賀会長と鈴木部長



歓談風景



抽選会の模様



織間理事による三本締め



今回ご協力いただいた協賛企業6社

[左から] ヴェオリア・ジェネッツ(株)、輝達商事(株)、東ソー(株)、日本コントロールシステム(株)、ビーエルテック(株) (2名)、メルク(株)の皆様

2023年 新春賀詞交歓会出席者名簿

2023年1月24日（火）
於 アルカディア市ヶ谷 5階 「大雪」

来 賓

東京都環境局 環境改善部	環境改善部長 鈴木 研二 様
〃	大気保全課長 木立 真敏 様
東京都生活文化スポーツ局 計量検定所	所 長 戸 澤 互 様
(一社)日本環境測定分析協会	会 長 上 東 浩 様
〃	関東支部支部長 佐 藤 隆 様

会 員

No	会 社 名	氏 名	備 考
2	いであ(株)		
4	(株)エオネックス		
5	(株)オオスミ		
10	(株)環境管理センター		
12	(株)環境技術研究所		
15	(株)環境総合リサーチ		
16	環境リサーチ(株)		
17	シグマジオテック(株)		
18	(株)総合環境分析		
19	帝人エコ・サイエンス(株)		
22	(株)デイラボ		
24	(一財)東海技術センター		
26	(株)東京環境測定センター		
28	(株)日新環境調査センター		
30	(株)日本シーシーエル		
31	(株)日本総合科学 東京支所		
34	(株)日本分析		
37	ヒロエンジニアリング(株)		
39	(株)分析センター		
42	ムラタ計測器サービス(株)		
45	ユーロフィン日本環境(株)		

21社 45名

協賛企業

No	会 社 名	氏 名	備 考
1	ヴェオリア・ジェネッツ(株) エルガ・ラボウオーター事業部		賛助
2	輝達商事(株)		賛助
4	東ソー(株)		賛助
5	日本コントロールシステム(株)		賛助
7	ビーエルテック(株)		賛助
9	メルク(株)		賛助

6社 9名
来賓 5名
合計 59名

関係機関・団体の動き

2023 年 2 月現在、既に実施または今後予定されている関係機関及び団体の動きは、以下のとおりです〔東環協ニュース第 180 号以降分〕。

○首都圏環境計量協議会連絡会

- | | | |
|------------------|----------|--------|
| ・第 2 回委員会 | 12 月 6 日 | Web 開催 |
| ・第 3 回委員会 | 2 月 7 日 | Web 開催 |
| ・首都圏合同・新任者教育セミナー | 6 月頃 | (詳細未定) |

○(一社)神奈川県環境計量協議会

- | | | |
|--------------|----------|------|
| ・2023 年度通常総会 | 5 月 24 日 | (予定) |
|--------------|----------|------|

○千葉県環境計量協会

- | | | |
|--------------|----------|--------|
| ・2023 年度通常総会 | 4 月 21 日 | ホテル菜の花 |
|--------------|----------|--------|

○(一社)埼玉県環境計量協議会

- | | | |
|-----------------|----------|-----------------------------|
| ・技術講習会（騒音・振動関係） | 2 月 17 日 | 埼玉会館 |
| ・2023 年度通常総会 | 5 月 26 日 | (一社)埼玉県環境検査研究協会
(開催方法未定) |

○(一社)日本環境測定分析協会

- | | | |
|----------------|----------|----------|
| ・2023 年度通常社員総会 | 5 月 30 日 | タワーホール船堀 |
|----------------|----------|----------|

東環協からのお知らせ

○2023 年度 主要行事予定

・2023 年度通常総会

5月9日

アルカディア市ヶ谷

○事務局からのお知らせ

・現在の会員数（2023年2月現在）

正会員 61 社

賛助会員 21 社 合計 82 社

○編集後記

「東環協ニュース（第181号）」が完成しましたので皆様にお届けいたします。今回は、本年1月に行われました技術研修会、賀詞交歓会を中心に記事を掲載しました。なお、2022年度の主要行事は、技術研修会、新春賀詞交歓会をもって終了となりました。コロナ禍の中、会員の皆様のご協力により今年度は多くの行事を開催することができました。改めて、心より御礼申し上げます。

なお、本年 5 月には 2023 年度通常総会の開催が対面形式で予定されています。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

認証標準物質 (CRM)

～グローバルレベルの分析技術～



MRA JCSS
ASNITE

ISO 17034
民間企業初取得

ISO/IEC 17025
国内試薬メーカーで
初取得

ISO 9001
国内試薬メーカーで
初取得

ISO 14001
試薬業界で初取得



関東化学 認証標準物質

検索



[認定概要] MRA JCSS

種 別	品目数	製品数	認定業者
pH 標準液 (第 1 種)	2	2	伊勢原工場 (認定番号: 0015)
pH 標準液 (第 2 種)	6	15	
金属標準液	33	50	草加工場 (認定番号: 0014)
金属混合標準液	1	1	
非金属イオン標準液	12	16	
有機化合物標準液	3	3	
有機化合物混合標準液	5	5	

ASNITE 認定 認証標準物質

認定概要 容量分析用標準物質 : 10品目
定量NMR用標準物質 : 2品目
電気伝導率測定用標準液 : 1品目

認証書 (COA)

ILAC MRAマーク・IA Japan認定シンボル入りの認証書

ISO/IEC 17025対応 容量分析用滴定液

適用品目 20品目

試験報告書 (COA)

ILAC MRAマーク・JAB認定シンボル入りの試験報告書
※試験報告書は有料でご提供しております。



関東化学株式会社

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町2丁目2番1号 (03)6214-1090

HPシリーズ 精密圧力調整器の紹介

精密圧力調整器は、高精度、高品質の標準ガスと共に、環境計測分野を始め、様々な産業界で使用され、絶大な信頼を得ています。今回、新たなシリーズを加えることにより、ユーザーのニーズにお応えできるよういたしました。



HPシリーズ 精密圧力調整器

HPシリーズは、環境計測などの精密分析から高度な実験研究など広範囲にご使用可能です。

標準ガスや高品位ガス用として設計されたHPシリーズは、特別クリーン洗浄・組立仕様の精密圧力調整器です。

精度の高い
圧力調整

特別クリーン
洗浄

特別クリーン
組立仕様

HPシリーズ 精密圧力調整器仕様一覧表

品 名	Hp型式	材 質	圧力計 (MPa)		ネ ジ	品 名	Hp型式	材 質	圧力計 (MPa)		ネ ジ
			1次側	2次側					1次側	2次側	
1段式 B s圧力調整器	HP-1B-2506-R	B s	25	0.6	右	2段式 B s圧力調整器	HP-2B-2503-R	B s	25	0.3	右
	HP-1B-2510-R			1	右		HP-2B-2506-R			0.6	右
	HP-1B-2516-R			1.6	右		HP-2B-2510-R			1	右
	HP-1B-2506-H			0.6	ヘリウム		HP-2B-2516-R			1.6	右
	HP-1B-2510-H			1	ヘリウム		HP-2B-2503-H			0.3	ヘリウム
	HP-1B-2516-H			1.6	ヘリウム		HP-2B-2506-H			0.6	ヘリウム
	HP-1B-2506-L			0.6	左		HP-2B-2510-H			1	ヘリウム
	HP-1B-2510-L			1	左		HP-2B-2516-H			1.6	ヘリウム
HP-1B-2516-L	1.6	左	HP-2B-2503-L	0.3	左						
1段式 S U S圧力調整器	HP-1S-2506-R	S U S	25	0.6	右	HP-2B-2506-L	0.6	左			
	HP-1S-2510-R			1	右	HP-2B-2510-L	1	左			
	HP-1S-2516-R			1.6	右	HP-2B-2516-L	1.6	左			
	HP-1S-2506-H			0.6	ヘリウム	HP-2S-2503-R	0.3	右			
	HP-1S-2510-H			1	ヘリウム	HP-2S-2506-R	0.6	右			
	HP-1S-2516-H			1.6	ヘリウム	HP-2S-2510-R	1	右			
	HP-1S-2506-L			0.6	左	HP-2S-2516-R	1.6	右			
	HP-1S-2510-L			1	左	HP-2S-2503-H	0.3	ヘリウム			
HP-1S-2516-L	1.6	左	HP-2S-2506-H	0.6	ヘリウム						
2段式 S U S圧力調整器	HP-2S-2510-H	S U S	25	1	ヘリウム	HP-2S-2516-H	1.6	ヘリウム			
	HP-2S-2516-L			1.6	左	HP-2S-2503-L	0.3	左			
	HP-2S-2506-L			0.6	左	HP-2S-2510-L	1	左			
	HP-2S-2516-L			1.6	左	HP-2S-2516-L	1.6	左			

※全ての機種にストップバルブが付いています。

※出口形状はRc1/4です。

標準付属品としてホースニップルを付けることが可能です。

それ以外の継手が必要な場合は、下記オプションを指定してください。

出口継手	継手の種類	サイズ
標準付属品	ホースニップル	φ6・φ8.5
オプション	テフロンチューブ継手	1/8・1/4・3/8・φ6
	SUSパイプ継手	1/8・1/4・3/8・φ6



高圧ガス工業株式会社
KOATSU GAS KOGYO CO., LTD.



<https://www.koatsugas.co.jp/>

高圧ガス工業 検索

本社 〒530-8411 大阪府大阪市中西崎2丁目4番12号
梅田センタービル 28階

☎ 06(7711)3355

東京事務所 〒100-0011 東京都千代田区内幸町1丁目2番1号
日土地内幸町ビル 9階

☎ 03(3595)3122

滋賀工場 〒529-1441 滋賀県東近江氏五個荘川並町368番地

☎ 0748(48)6222

お客様各位

平素はエルメックス商品をご愛顧賜り誠にありがとうございます。

ELMEX Post は、微生物検査ご担当者様宛に、弊社商品の発売や仕様変更、セミナー・学会・展示会、その他関連する情報を提供する目的で発信しています。本紙が適切でない部署に配信されている場合は、適切な部署へ転送下さいます様よろしくお願い申し上げます。

◆◆◆ 水質汚濁に係る環境基準が変更されます ◆◆◆

大腸菌群検査から特定酵素基質寒天培地による大腸菌検査へ

環境基本法第16条第1項「水質汚濁に係る環境基準について」の一部改正

令和3年3月の「水質汚濁に係る生活環境の保全に関する環境基準の見直しについて(第2次報告案)」を受け、生活環境項目環境基準において、よりふん便汚染の指標性が高い大腸菌数を新たな衛生微生物指標とし、大腸菌数の測定には特定酵素基質寒天培地による検査法が適当とされました。

特定酵素基質 5-プロモ-4-クロロ-3-インドリル-β-D-グルクロニド(X-GLUC)を含む、当社のアガートリコロールが大腸菌数検査に使用できます。

〈検査方法〉

- ①滅菌した密閉できる容器に採水
- ②メンブランフィルターで検水を吸引ろ過
- ③ろ過したメンブランフィルターをアガートリコロール培地に密着させ、倒置し培養
- ④培養後青色のコロニーを数える

〈大腸菌数の環境基準〉(予定)

水道 1 級	100CFU/100mL
水道 2 級	300CFU/100mL
水道 3 級	1000CFU/100mL
水浴 (プール等)	300CFU/100mL
自然環境保全 人為的なふん便汚染が極めて少ないと考えられる地点 および自然公園等に指定されている海域の河川・湖沼	20CFU/100mL

環境省から上記命令等の適用は、令和4年4月1日の予定です。

Pro-media アガー

トリコロール

大腸菌群・E.coli 同時検査用

ラウリル硫酸 Magenta-GAL・X-GLUC 寒天培地

透明な培地の上に E.coli は青く、大腸菌群は赤く発色。判定が簡単にできます。



〈使用方法〉

1袋(7.85g)を200mLの精製水、または39.3gを1000mLの精製水に加え、加温溶解するか、オートクレーブ滅菌を行う。

(加温溶解した培地は当日中にご使用ください)

品名	Pro-media アガートリコロール (顆粒)	
コード No.	XMA-01N	XMA-400
入数	7.85g/袋×40	400g/ボトル
価格 (税別送料込)	¥17,000	¥21,300

----- カタログ・サンプル 要求書 ----- Fax: 03-3831-9829 -----

送付先をご記入ください		お気軽にお問合せください アガートリコロール ☐ カタログ希望 ☐ サンプル希望
御社名	e-mail	
〒 都道府県 ご住所		
ご担当者名	TEL	
ユーザー様名		エルメックス商品仕入れ先 (業者名) 東京科研

高速イオンクロマトグラフ

IC-8100

先進のセパレーションテクノロジーを継承、
さらに進化したニューコンセプトIC・・・
ますますの快適さと信頼性をお届けします。

ION CHROMATOGRAPH

IC-8100



高速分析

測定時間5分のハイスループット分析を実現

高速分離カラムとの組み合わせで、陰イオン・陽イオンの測定がそれぞれ5分で終了。
分析時間を大幅に短縮できます。

測定時間10分で臭素酸を含む水道水質基準項目の分析を実現

水道水質分析用の高速高分離カラムと、高感度ポストカラム反応システムを用いることで、
臭素酸を含む水道水質基準項目が10分以内で測定できます。
従来、複数の条件で行なわれていた分析を一度の測定で行うことが可能です。

高感度

自動交換型ゲルサプレッサー方式で高感度分析が可能

サプレッサーロータリーバルブとサプレッサーゲルを組み合わせた、自動交換型ゲルサプレッサー方式の採用により
安定した高感度連続自動分析が可能です。

高機能 拡張性

自動希釈機能付きのオートサンプラーを標準搭載 (IC-8100EX)

高濃度イオン含有試料などに対して希釈と注入を連続して行うことができます。

試料濃縮機能を追加搭載可能

オプションの試料濃縮機能を追加すれば、最大1200 μ Lの試料を濃縮カラムを用いて濃縮し、
自動でイオンクロマトグラフィー測定を行うことが可能です。試料のマトリックスの影響を抑え、より高感度な測定をすることが可能です。

IC-8100シリーズ専用紫外可視吸光度検出器

フローセルの最適化及び温度変化を最小限に抑えた流路設計により、低ノイズ、低ドリフトのベースラインを実現しています。
当社従来器に比べて感度がおよそ5倍向上しています(亜硝酸イオンのS/Nより算出)。

IC-8100EX専用自動溶離液供給ユニット

新規開発した調製機構により安定的に溶離液を調製し、装置へ供給します。
濃縮溶離液と純水をセットするだけで分析が可能となります。
常に安定した組成の溶離液が供給されるため、経時変化による溶出時間の変動がなく安定した分析が可能です。

IC-8100EX専用自動前処理ユニット

専用前処理用陽イオン交換ゲルを用いて、自動で試料を前処理してからイオンクロマトグラフに注入することが可能です。
試料の中和処理や、カラム寿命に影響を与える可能性のある過剰に含まれる対イオンや金属の除去ができます。
自動処理が可能であるとともに、前処理にかかるコストは約50円/分析と前処理コストの削減にも寄与します。

IC-8100シリーズ専用ポストカラム反応システム

イオンクロマトグラフIC-8100EXと紫外可視吸光度検出器UV-8100との組み合わせにより
水道水質検査法に準拠した臭素酸やシアン等の高感度分析を実現します。

※ "IC-8100" は日本における東ソー株式会社の登録ロゴです。



東ソー株式会社
バイオサイエンス事業部

東京本社営業部 ☎(03)5427-5180 〒105-8623 東京都港区芝3-8-2
大阪支店 バイオサイエンスG ☎(06)6209-1948 〒541-0043 大阪市中央区高麗橋4-4-9
名古屋支店 バイオサイエンスG ☎(052)211-5730 〒460-0008 名古屋市中区栄1-2-7
福岡支店 ☎(092)781-0481 〒810-0001 福岡市中央区天神1-13-2
仙台支店 ☎(022)266-2341 〒980-0014 仙台市青葉区本町1-11-1
カスタマーサポートセンター ☎(0467)76-5384 〒252-1123 神奈川県綾瀬市早川2743-1
バイオサイエンス事業部ホームページ <https://www.separations.asia.tosohbioscience.com/>

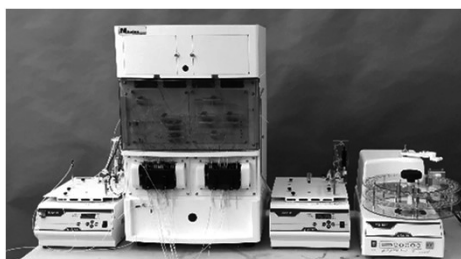
ビーエルテックの自動化学分析装置



新型オートアナライザー「MiSSion」

ふっ素 シアン フェノール類 全窒素 全りん

- 1 新開発の光学系により測定レンジが広がりました。
- 2 原理は、気泡分節型連続流れ分析法（**CFA**）で計量証明機関で多くの実績があります。
- 3 **ふっ素、シアン、フェノール類**の蒸留、発色操作も自動で行えます。
- 4 **全窒素全りん**のオートクレーブ分解、発色操作も自動で行えます。
- 5 自動洗浄装置装着時、**オートスタート機能**、自動プラテンリリースできます。
- 6 国内生産です。
- 7 JISK0102、環境省告示対応メソッドです。 1時間20検体測定ができます。



MiSSion-ふっ素シアン



MiSSion-全窒素全りん

全自動酸化分解前処理装置 DEENAシリーズ

特長

1. 試薬を自動で導入できます。
2. 自動で加熱をします。
3. 内部標準も入れられます（オプション）
4. メスアップも自動で行います。



DEENA60

（50mlバイアル 60本掛け）

連続流れ分析法（CFA法）を用いた、酸添加加熱分解装置AATM（アトム）

特長

1. 液体サンプルは、酸と混合、加熱しICP-MSへそのまま導入され測定されます。
2. 気泡分節のCFA法を利用した装置です。
3. 土壌汚染関連、排水、飲料水など全自動で測定できます。



ビーエルテック株式会社 <http://www.bl-tec.co.jp>

本 社 〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-25-7 江戸堀ヤタニビル2F
TEL：06-6445-2332 FAX：06-6445-2437

東京本社 〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町14-15 マツモトビル4F
TEL:03-5847-0252 FAX：03-5847-0255

九州支店 〒811-3311 福津市宮司浜1-16-10-101
TEL:0940-52-7770 ※FAXは本社へ



メトローム イオンクロマトグラフ



930 IC 本体



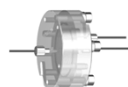
858 サンプルプロセッサ
+ 800 ドジーノ (電動ビュレット)



940 IC 本体



942 拡張モジュール



ろ過デバイス
限外ろ過



透析デバイス
ダイアリシス



中和・除去デバイス
中和 / 金属除去



濃縮・除去デバイス
濃縮 / カラムスイッチング
/ マトリックス除去

メトローム 自動前処理システム Metrohm Inline Sample Preparation (MISP) は、手作業でおこなっていたイオンクロマトグラフのサンプル前処理を完全自動化できます。

MISP は、メトローム開発したイオン分析のための自動前処理手法です。マトリックスの除去、濃縮、希釈、pH 調整、中和等の作業と時間のかかる作業を完全自動化します。前処理工程を改善するとともに、分析精度の向上にも有効です。

イオンクロマトグラフィの原理からトラブルまでご隠居さん達が楽しく解説する大人気コラム「ご隠居達のIC四方山話(よもやまばなし)」。ウェブサイトに掲載中！

IC 四方山話



デモやサンプルテストもお気軽にお問い合わせください。
e-mail でのお問い合わせ: metrohm.jp@metrohm.jp

本社 〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町30-1 タマビル日本橋箱崎8階 TEL: 03-5642-6146 (TI部) FAX: 03-5642-6142
大阪支店 〒541-0047 大阪府大阪市中央区淡路町3-1-9 淡路町ダイビル5階502C TEL: 06-6232-2311 FAX: 06-6232-2312
URL <https://www.metrohm.com/ja-jp/>

水銀規制に関する対応はできていますか？

サステナビリティに貢献

超純水・純水製造装置

Milli-Q IQ 7003/05/10/15

純水製造装置

Milli-Q IX 7003/05/10/15

水銀フリーUVランプ



- 水銀に関する規制に対応
- 19%の施設（民間企業・大学・公的研究機関）では水銀を含む製品は購入できず、47%の施設では水銀を含まない製品を選ぶようにする対応が取られています。

最大30%省エネ

- 最大30%のエネルギー削減*（Milli-Q IX 7003/05/10/15）
（製品ライフサイクル全体で500 kWh以上）

使用水量削減

- RO膜洗浄水量を80%削減*
- RO排水リサイクルにより、使用水量の大幅削減

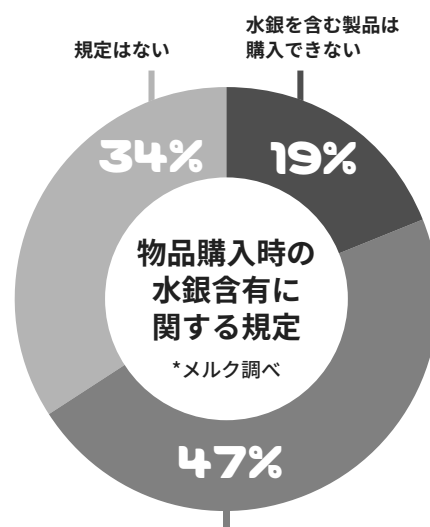
化学物質の使用・廃棄ゼロ

- イオン交換樹脂再生のための危険な化学薬品による再生と廃棄物を排除。Elix® EDIテクノロジーは、微弱な電気によりイオン交換樹脂を再生。

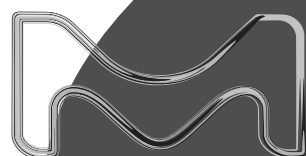
*前モデルElixとの比較

メルク株式会社

ライフサイエンス ラボウォーター事業部
〒153-8927 東京都目黒区下目黒 1-8-1 アルコタワー 5F
製品の最新情報はこちら www.merckmillipore.com/LW
On-Line: www.merckmillipore.jp/jpts
Tel: 03-4531-3939 Fax: 03-5434-4875



水銀を含まない製品をなるべく選ぶようにする必要があります



The life science business
of Merck operates as
MilliporeSigma in the
U.S. and Canada.



Milli-Q®

Lab Water Solutions

X線技術で環境分析をサポート！

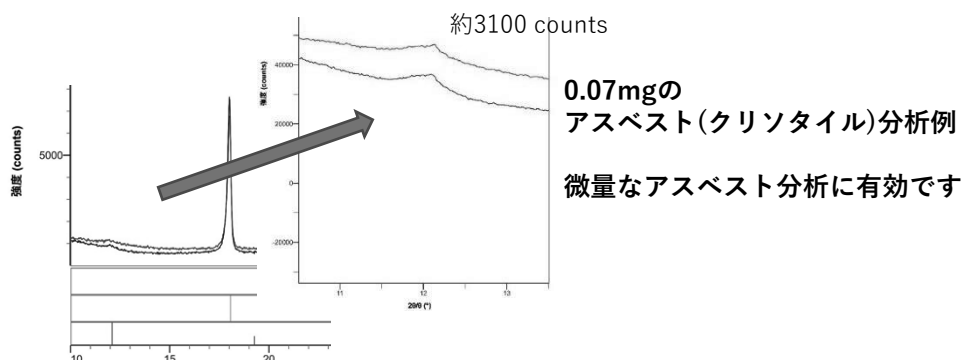
－アスベスト・微量元素の測定に－

全自動多目的X線回折装置 SmartLab SE



測定対象例：アスベスト、無機化合物全般

- JIS A 1481「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」の測定条件に則った測定が可能
- オートサンプラーと高速1次元検出器素搭載による多検体高速測定

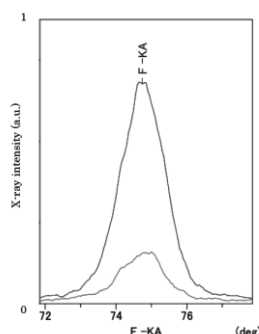


卓上型波長分散蛍光X線装置 Supermini200



測定対象例：土壤中の環境規制元素
無機金属全般

- O～Uまでの主成分%～微量ppmオーダー分析
- 試料の酸分解、溶解など前処理不要
- 卓上型で省スペース
- ICやICP前のスクリーニング分析に使用可能



F 濃度	500ppm	100ppm
分析値(ppm)	592	142

液中フッ素のろ紙分析例
%～ppmオーダーのフッ素分析が可能です

【販売元】

株式会社 **リガク**
Rigaku

〒151-0051
東京都渋谷区千駄ヶ谷4-14-4
E-mail: tky-www@rigaku.co.jp
TEL 03-3479-6011 FAX 03-3479-6171

